

職場風土向上研修

～心理的安全性向上による職場の活性化～



近年、職場づくりのポイントとして「心理的安全性」が注目されています。
 (組織行動学の研究者エイミー・C・エドモンドソンが提唱した心理学用語)
 心理的安全性の有無は、職場の風通しの良さに直結し、組織としての業務面だけでなく、働く職員の精神面にも影響を及ぼす重要な要素です。
 本研修では、今の職場をより良くするためのヒントとして、心理的安全性の向上による職場活性化を考えていきます。

■主な内容 (標準時間:3～4時間)

項目	内容
1. 職場の活性化を考える	(1)皆さんの職場の様子は？ (2)職場が活性化しているとは？ *コミュニケーションが良い組織 *やる気に満ち溢れた組織 (3)職場の活性化の土台になる考え方:心理的安全性 *心理的安全性とは？ …“自分の意見を気兼ねなく発言しても、否定的に評価される心配はない”という確信を皆で共有している状態 (このような安心感が共有されている共有されている状態)
2. 心理的安全性の基礎理解	(1)働く人の心理 (2)心理的安全性がもたらす効果 (3)心理的安全性を阻害する対人不安とその影響 (4)心理的安全性が高い職場の共通点 (5)心理的安全性が感じられる4つの要素と行動例 ・話しやすさ ・助け合い ・挑戦 ・新奇歓迎
3. 心理的安全性のための意識と行動	(1)職場全体で求められる意識 ・自然体の自分に戻る ・他者の尊重 ・相互理解 (2)相互理解のためのポイント ・想像力をフルに働かせる ・自己開示&傾聴 (3)リーダーに求められる行動 ①メンバーの意識の方向を内から外へ ②メンバーに対する安心感の醸成 ③思い込みで相手を黙らせない(謝らせない) ④失敗からの学習や改善の促進(学習する組織) (4)心理的安全性を壊してしまうリーダーの思考
4. メンバーとの相互理解のために(対話の重要性とポイント)	(1)心理的安全性のために…メンバーと個別に話す *「対話」による相互理解の促進 (2)対話のポイント ・押し付けない ・対話の最終ゴールは何なのか？ (3)対話の場で意識するポイント ・非言語への配慮 ・コミュニケーションの回数と人間的側面 ・リーダー自身の自己開示 ・リーダーの心の状態

お問い合わせ・ご相談

株式会社 学宣 03-6205-5691 uketsuke_sougou@gakusen.co.jp